

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	8103	領域略称名	生命金属科学
研究領域名	「生命金属科学」分野の創成による生体内金属動態の統合的研究		
領域代表者名 (所属等)	津本 浩平 東京大学・大学院工学系研究科（工学部）・教授		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域は、生化学、分子生物学、物理化学、医学などの多彩な異分野融合により、生体内での金属元素の動態・機能の解明を目指す意欲的な研究である。従来の個々の研究で行われてきた、種々の金属に関する分子・細胞・個体レベルでの研究を横断的・統合的に実施することで、生体が生命金属を利用する仕組みについての理解が進みつつある。また、臨床医が本研究領域に積極的に参画することで、生命金属に関わる疾患の発症機構の解明にも取り組んでいる。

前期においては、雑誌論文等の業績も十分であり、各計画研究参画者の持つ題材を更に展開させ、期待どおりの進展が認められる。また、ウェブセミナーの開催や領域会議の地方巡業、ニュースレターや書籍の出版などを通して、各計画研究の意思疎通を図る取り組みも評価できる。

一方で、計画研究の進捗にはややばらつきが見受けられる。後期においては、当該分野のロードマップを明示し、領域全体としての意思統一と計画研究間の連携やサポート体制を強化することで、異分野融合を更に推進し、個々の成果を統合した新しい学術領域が生み出されることを期待したい。